

毎日のミサ

ベトナム巡礼 2026年2月



聖書と典礼より 2月1日～6日

叙唱

主の祈り（ベトナム語）

聖霊の続唱

15分ごとの祈り

保護の聖人への祈り

ロザリオの祈り（5つの神秘）

主の祈り・アヴェ・マリアの祈り・栄唱

2月1日 日——主日・緑

年間第四主日

〔開〕年間第四主日A年 〔閉〕年間第四主日

入祭の歌 (歌わない場合は次の入祭唱を唱える)

入祭唱 (詩編106・47)

わたしたちを救われる神よ、

諸国からわたしたちを集めてください。

誇りをもってあなたのようにとい名をたたえ、

感謝することができまますように。

栄光の賛歌 (グロリア)

集会祈願

わたしたちの神である父よ、心を尽くしてあなたに仕える喜びと、すべての人を愛する恵みをお与えください。聖霊による一致のうちに、あなたと

ともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

第一朗読 (ゼファニヤ2・3、3・12-13)

わたしはお前の中に、苦しめられ、卑しめられた民を残す

ゼファニヤの預言

主を求めよ。

主の裁きを行い、苦しみに耐えてきた

この地のすべての人々よ

恵みの業を求めよ、苦しみに耐えることを求めよ。

主の怒りの日に

あるいは、身を守られるであろう。

わたしはお前の中に

苦しめられ、卑しめられた民を残す。

彼らは主の名を避け所とする。

イスラエルの残りの者は

不正を行わず、偽りを語らない。

その口に、欺く舌は見いだされない。

彼らは養われて憩い

彼らを脅かす者はない。

答唱詩編 典 19 ①③④

(詩編146・1+2+10 a、6 c+7、8 a c+9 b c)

【答】いのちあるすべてのものは、神をたたえよ。

心を尽くして神をたたえよ。

いのちのある限り神をたたえよ。

わたしは生涯神をほめうたう。

【答】神はとこしえに治められる。

神はとこしえにまことをしめし、

貧しい人のためにさばきをおこなない、

飢えかわく人にかてをめぐみ、

捕らわれびとを解放される。【答】

神は見えない人の目をひらき、

従う人をあいされる。

身寄りのない子どもとやもめをささげ、

逆らう者の企てを砕かれる。【答】

第二朗読 (一コリント1:26-31)

神は世の無力な者を選ばれた

使徒パウロのコリントの教会への手紙

兄弟たち、あなたがたが召されたときのことを、

思い起こしてみなさい。人間的に見て知恵のある

者が多かつたわけではなく、能力のある者や、家

柄のよい者が多かつたわけでもありません。とこ

ろが、神は知恵ある者に恥をかかせるため、世の

無学な者を選び、力ある者に恥をかかせるため、

世の無力な者を選ばれました。また、神は地位の

ある者を無力な者とするため、世の無に等しい者

身分の卑しい者や見下げられている者を選ばれた

のです。それは、だれ一人、神の前で誇ることが

ないようにするためです。神によつてあなたがたはキリスト・イエスに結ばれ、このキリストは、わたしたちにとつて神の知恵となり、義と聖と贖いとなられたのです。「誇る者は主を誇れ」と書いてあるとおりになるためです。

アレルヤ唱 **ア** 5:11 A (マタイ5:12 a)、

または **四** 21 (4 A)

アレルヤ、アレルヤ。喜びおどれ。天においてあなたがたの報いは大きい。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読 (マタイ5:1-12 a)

心の貧しい人々は、幸いである

マタイによる福音

〔そのとき、〕イエスは群衆を見て、山に登られた。腰を下ろされると、弟子たちが近くに寄つて来た。そこで、イエスは口を開き、教えられた。

「心の貧しい人々は、幸いである、

天の国はその人たちのものである。

悲しむ人々は、幸いである、

その人たちは慰められる。

柔和な人々は、幸いである、

その人たちは地を受け継ぐ。

義に飢え渇く人々は、幸いである、

その人たちは満たされる。

憐れみ深い人々は、幸いである、

その人たちは憐れみを受ける。

心の清い人々は、幸いである、

その人たちは神を見る。

平和を実現する人々は、幸いである、

その人たちは神の子と呼ばれる。

義のために迫害される人々は、幸いである、

天の国はその人たちのものである。

わたしのためにのしられ、迫害され、身に覚え

のないことであらゆる悪口を浴びせられるとき、

あなたがたは幸いである。喜びなさい。大いに喜

びなさい。天には大きな報いがある。」

信仰宣言

共同祈願

奉納祈願

聖なる父よ、このささげものを祭壇に供えて祈ります。わたしたちのために救いの秘跡としてください。わたしたちの主イエス・キリストによつて。
アーメン。

叙唱 年間主日一―八 (105―106ページ)

拝領の歌 (歌わない場合は次の拝領唱を唱える)

拝領唱 (マタイ5・3、5)

心の貧しい人は幸い。天の国はその人のもの。

柔和な人は幸い。その人は地を受け継ぐ。

拝領祈願

いつくしみ深い父よ、救いの秘跡によつて養われるわたしたちが、まことの信仰に成長することができますように。わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

2月2日 一月 ― 祝日・白

主の奉獻

〔朗誦〕 主の奉獻

イエスが生まれて四十日後に、律法に従つて両親の手でエルサレムの神殿で神にささげられたことを記念する祝日で、エルサレムでは五世紀に、ローマでは七世紀に祝われるようになった。十世紀からは西方の典礼書では「マリアの清めの祝日」と呼ばれるようになったが、一九六〇年の典礼刷新で、東方教

会の伝統に合わせて再び「主の奉獻の祝日」と名づけられた。(『毎日の読書』より)

入祭の歌 (歌わない場合は次の入祭唱を唱える)

入祭唱 (詩編48・10-11)

わたしたちは神殿で、神のいつくしみを思う。

神よ、あなたをたたえる歌声は地の果てまで及ぶ。

栄光の賛歌 (グロリア)

集会祈願

全能永遠の神よ、御ひとり子は人となられ、きょう神殿にささげられました。わたしたちも聖霊の光に従い、罪のやみを捨て、みずからあなたにささげることができますように。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

*第一朗読は、マラキ書またはヘブライ人への手紙のどちらかを用いる。

第一朗読 (マラキ3・1-4)

あなたが待望している主は、その聖所に来られる

マラキの預言

〔万軍の主は言われる。〕

見よ、わたしは使者を送る。

彼はわが前に道を備える。

あなたが待望している主は

突如、その聖所に来られる。

あなたが喜びとしている契約の使者

見よ、彼が来る。

だが、彼の来る日に誰が身を支えうるか。

彼の現れるとき、誰が耐えうるか。

彼は精錬する者の火、洗う者の灰汁のようだ。

彼は精錬する者、銀を清める者として座し

レビの子らを清め

金や銀のように彼らの汚れを除く。↖

彼らが主に献げ物を

正しくささげる者となるためである。

そのとき、ユダとエルサレムの献げ物は

遠い昔の日々に

過ぎ去った年月にそうであつたように

主にとつて好ましいものとなる。

(または ヘブライ 2・14-18)

イエスはすべての点で兄弟たちと同じようにならねばならなかつた

ヘブライ人への手紙

〔人は〕血と肉を備えているので、イエスもま

た同様に、これらのものを備えられました。それ

は、死をつかさどる者、つまり悪魔を御自分の死

によつて滅ぼし、死の恐怖のために一生涯、奴隷

の状態であつた者たちを解放なさるためでした。

確かに、イエスは天使たちを助けず、アブラハム

の子孫を助けられるのです。それで、イエスは、

神の御前において憐れみ深い、忠実な大祭司とな

つて、民の罪を償うために、すべての点で兄弟た

ちと同じようにならねばならなかつたのです。事

実、御自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、

試練を受けている人たちを助けることがおできに

なるのです。

答唱詩編 ① 158 ② ③ ④

(詩編 24・3+4、5+6、8+10)

〔答〕 門よ、とびらを開け、永遠の戸よ、上がれ。

栄光の王がはいる。

だれが神の山に登れよう。

だれが聖所に立てよう。

それは手に汚れなく、心の清いひと、

むなしいことに心を向けず、

いつわりを口にしないひと。

〔答〕

その人は神に祝福され、

救いの恵みを受ける。

彼はヤコブの一族、

神を求め、その顔を慕う。 [答]

栄光の王とはだれか、

勝利を得られる力ある神。

栄光の王とはだれか、

すべてを治める神、神は栄光の王。 [答]

アレルヤ唱 [ア] 507⑨ (ルカ2・32)、

または 258 (主の奉獻)

アレルヤ、アレルヤ。異邦人を照らす光、あなたの民イスラエルの光栄。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読 (ルカ2・22-40、または2・22-32)

わたしはこの目であなたの救いを見た

ルカによる福音

モーセの律法に定められた彼らの清めの期間が

過ぎたとき、両親は「イエス」を主に献げるため、エルサレムに連れて行った。それは主の律法に、「初めて生まれる男子は皆、主のために聖別される」と書いてあるからである。また、主の律法に言われているとおりに、山鳩一つがいか、家鳩の雛二羽をいけにえとして献げるためであった。

そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい人で信仰があつく、イスラエルの慰められるのを待ち望み、聖霊が彼にとどまっていた。そして、主が遣わすメシアに会うまでは決して死なない、とのお告げを聖霊から受けていた。シメオンが、霊に導かれて神殿の境内に入つて来たとき、両親は、幼子のために律法の規定どおりにいけにえを献げようとして、イエスを連れて来た。シメオンは幼子を腕に抱き、神をたたえて言った。

「主よ、今こそあなたは、お言葉どおり

この僕を安らかに去らせてくださいます。へ

わたしはこの目であなたの救いを見たからです。これは万民のために整えてくださった救いで、異邦人を照らす啓示の光、あなたの民イスラエルの誉れです。」

《父と母は、幼子についてこのように言われたことに驚いていた。シメオンは彼らを祝福し、母親のマリアに言った。「御覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人を倒したり立ち上がらせたりするために定められ、また、反対を受けるしとして定められています。——あなた自身も剣で心を刺し貫かれます——多くの人の心にある思いがあらわにされるためです。」

また、アシエル族のファヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。非常に年をとっていて、若いとき嫁いでから七年間夫と共に暮らしたが、夫に死に別れ、八十四歳になつていた。彼女は神殿を離れず、断食したり祈

ったりして、夜も昼も神に仕えていたが、そのとき、近づいて来て神を賛美し、エルサレムの救いを待ち望んでいる人々皆に幼子のことを話した。

親子は主の律法で定められたことをみな終えたので、自分たちの町であるガリラヤのナザレに帰った。幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた。》

奉納祈願

聖なる父よ、あなたは、ひとり子がすべての人の救いのため、汚れない小羊としてささげられるようお定めになりました。教会が、喜びのうちにささげるこの供えものを受け入れてください。わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

叙唱 降誕節二

聖なる父、全能永遠の神、御子イエスの奉獻を

喜び祝い、心から感謝の祈りをささげます。

永遠のみことばが人となつて世に来られ、神のひとり子が歴史の中にお生まれになりました。キリストは倒れていた世界を立ち上がらせて、すべてのものを新たにし、暗闇にさまよう民をあなたのもとに呼び集められます。

すべての天使とともにわたしたちも喜びの声を合わせ、あなたをたたえて歌います。

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（ルカ2・30―31）

わたしはこの目であなたの救いを見た。

あなたが万民の前に備えられた救いを見た。

拝領祈願

希望する者の力である神よ、あなたはシメオンの望みをかなえ、世を去る前に救い主を見る恵みをお与えになりました。とうとう秘跡にあずかった

わたしたちが主の来臨を待ち望み、永遠のいのちに導かれますように。わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

2月3日 火 —— 記念日・赤

福者ユスト高山右近殉教者

〔年〕年間第四火曜日（偶数年）

〔所〕福者ユスト高山右近殉教者

〔または〕〔所〕聖ブラジオ司教殉教者

〔または〕〔所〕聖アンスガリオ司教

一五五二年、摂津の国（現在の大阪府豊能郡）に生まれ、十一歳で家族とともに受洗。のちに高槻城主となり、織田信長、豊臣秀吉の重臣として仕えた。また宣教師を助けながら、領内で福音宣教を積極的に進めると同時に、慈悲のわざにも力を尽くし

た。一五八七年、伴天連追放令に伴い、秀吉から棄教を強く命じられたが応ぜず、大名の地位を追われた。加賀の前田家に保護され、金沢の地で福音宣教に励んだ。江戸幕府のキリシタン禁教令により、一六四四年にマニラに追放され、翌年二月三日、同地で逝去。二〇一七年二月七日、大阪で列福された
 團 口ローマ 8・35―39、ヨハネ 12・23―28

* 奉納祈願と拝領祈願は、殉教者共通(『ミサ典礼書』931―935頁)から他の祈願を用いることができる。

入祭の歌 (歌わない場合は次の入祭唱を唱える)

入祭唱

キリストを信じ、キリストの愛のためにいのちをささげたユスト高山右近は、キリストとともに終わりなく喜び歌う。

集会祈願

すべての人の救いを望まれる神よ、福者ユスト高山右近殉教者は、福音に忠実に従う道を選び、すべての地位と名誉を捨て、祖国から追放されて殉

教を遂げました。わたしたちも、その模範にならい、この世の力や誘惑に打ち勝ち、決して揺らぐことのない信仰に生きることができまますように。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

第一朗読 (サムエル下 18・9―10、14 b、

24―25 a、30―19・3)

わたしの息子アブサロムよ、わたしがお前に代わつて死ねばよかった
 った

サムエル記

〔その日、〕アブサロムがダビデの家臣に出会ったとき、彼はらばに乗っていたが、らばが樫の大木のからまりあつた枝の下を通つたので、頭がその木にひつかかり、彼は天と地の間に宙づりになった。乗っていたらばはそのまま走り過ぎてしまった。

兵の一人がこれを見て、ヨアブに知らせた。

「アブサロムが櫓の木に宙づりになっているのを見ました。」

ヨアブは棒を三本手に取り、アブサロムの心臓に突き刺した。

ダビデは二つの城門の間に座っていた。城壁に沿った城門の屋根には、見張りが上つて目を上げ、男がただ一人走つて来るのを見た。見張りは王に呼びかけて知らせた。

王が、「脇に寄つて、立つていなさい」と命じたので、「走つて来た」アヒマアツは脇に寄り、そこに立つた。

そこへクシユ人が到着した。彼は言った。「主君、王よ、良い知らせをお聞きください。主は、今日あなたに逆らつて立つた者どもの手からあなたを救つてくれました。」王はクシユ人に、「若者アブサロムは無事か」と尋ねた。クシユ人は答えた。「主君、王の敵、あなたに危害を与え

ようと逆らつて立つた者はことごとく、あの若者のようになりませうに。」

ダビデは身を震わせ、城門の上の部屋に上つて泣いた。彼は上りながらこう言った。「わたしの息子アブサロムよ、わたしの息子よ。わたしの息子アブサロムよ、わたしがお前に代わつて死ねばよかつた。アブサロム、わたしの息子よ、わたしの息子よ。」

王がアブサロムを悼んで泣いているとの知らせがヨアブに届いた。その日兵士たちは、王が息子を思つて悲しんでいることを知つた。すべての兵士にとって、その日の勝利は喪に変わった。

答唱詩編 〔典〕 138①③ (詩編86・5+6、15+16)

〔答〕 すべての人の救いを願ひ、

わたしはあなたを待ち望む。

神よ、あなたは恵み深く、心の広いかた、

あなたに助けを求める人に

いつくしみを注がれる。

神よ、わたしの祈りを聞き、

願いの声に耳を傾けてください。 [答]

神よ、あなたはあわれみに満ち、恵み深いかた、

怒るにおそく、

いつくしみとまことにあふれておられる。

あなたのしもべに力を授け、

あなたに仕える者を救ってください。 [答]

アレルヤ唱 [ア] 511③ (マタイ 8・17)、

または [典] 268⑨ (偶数週の旋律で)

アレルヤ、アレルヤ。主はわたしたちの病を身に
負い、わたしたちの苦しみを担ってください。ア
レルヤ、アレルヤ。

福音朗読 (マルコ 5・21-43)

少女よ、わたしはあなたに言う。起きなさい

マルコによる福音

〔そのとき、〕イエスが舟に乗って再び向こう岸
に渡られると、大勢の群衆がそばに集まって来た。
イエスは湖のほとりにおられた。会堂長の一人で
ヤイロという名の人が来て、イエスを見ると足も
とにひれ伏して、しきりに願った。「わたしの幼
い娘が死にそうです。どうか、おいでになって手
を置いてやってください。そうすれば、娘は助か
り、生きるでしょう。」そこで、イエスはヤイロ
と一緒に歩いて行かれた。

大勢の群衆も、イエスに従い、押し迫って来た。

さて、ここに十二年間も出血の止まらない女がい
た。多くの医者にかかつて、ひどく苦しめられ、
全財産を使い果たしても何の役にも立たず、ます
ます悪くなるだけであった。イエスのことを聞いて
、群衆の中に紛れ込み、後ろからイエスの服に
触れた。「この方の服にでも触れればいやしてい

ただける」と思ったからである。すると、すぐ出血が全く止まらなくなって、病気がいやされたことを体に感じた。イエスは、自分の内から力が出て行ったことに気づいて、群衆の中で振り返り、「わたしの服に触れたのはだれか」と言われた。そこで、弟子たちは言った。「群衆があなたに押し迫っているのがお分かりでしょう。それなのに、『だれがわたしに触れたのか』とおっしゃるのですか。」しかし、イエスは、触れた者を見つけようと、辺りを見回しておられた。女は自分の身に起こったことを知って恐ろしくなり、震えながら進み出てひれ伏し、すべてをありのまま話した。イエスは言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。もうその病気にからず、元気に暮らさなさい。」

イエスがまた話しておられるときに、会堂長の家から人々が来て言った。「お嬢さんは亡くなりました。もう、先生を煩わすには及ばないでしょう。」

う。」イエスはその話をそばで聞いて、「恐れることとはない。ただ信じなさい」と会堂長に言われた。そして、ペトロ、ヤコブ、またヤコブの兄弟ヨハネのほかは、だれもついて来ることをお許しにならなかった。一行は会堂長の家に着いた。イエスは人々が大声で泣きわめいて騒いでいるのを見て、家の中に入り、人々に言われた。「なぜ、泣き騒ぐのか。子供は死んだのではない。眠っているのだ。」人々はイエスをあざ笑った。しかし、イエスは皆を外に出し、子供の両親と三人の弟子だけを連れて、子供のいる所へ入って行かれた。そして、子供の手を取って、「タリタ、クム」と言われた。これは、「少女よ、わたしはあなたに言う。起きなさい」という意味である。少女はすぐに起き上がった、歩きました。もう十二歳になつていたのである。それを見るや、人々は驚きのあまり我を忘れた。イエスはこのことをだれにも知らせないようにと厳しく命じ、また、食べ物を少女

に与^{あた}えるようにと言^いわれた。

奉納祈願

全能の神よ、この供えものを祝福し、とうといものとしてください。福者ユスト高山右近殉教者が、あなたの愛に支えられてすべての苦しみに打ち勝ったように、わたしたちの心にも愛の火を燃え上がらせてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

叙唱 殉教者（110ページ）

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（二コリント4・11）

わたしたちはイエスのために死に渡されている。それは、イエスのいのちがわたしたちの死すべきからだに明らかに示されるためである。

拝領祈願

信じる者の力である神よ、福者ユスト高山右近殉教者は信仰を守り、苦しみを通して勝利の栄光を受けました。今あざかった秘跡によって、わたしたちに勇気のままものをお与えください。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

【任意・2月3日 聖ブラジオ司教殉教者】

四世紀のアルメニアのセバステの司教。ブラジオに對する崇敬は中世以降、教会中に広まった。

〔毎日の読書〕より

〔圖〕ローマ5・1―5、マルコ16・15―20

【任意・2月3日 聖アンソガリオ司教】

九世紀初めにフランスで生まれ、コルビーの修道院で学問を修めた。八二六年、福音宣教のためにデンマークに向かったものの成果をあげることができなかったが、後にスウェーデンで大きな成功を収めた。ハンブルクの司教に選ばれてグレゴリオ四世教皇に

集会祈願

入祭の歌(歌わない場合は次の入祭唱を唱える)
 入祭唱(詩編33・18)
 神の注がれる目は、神をおそれる人の上に、
 神の愛に希望をおく人の上に。

2月4日 水 — 週日・緑

〔朗〕年間第四水曜日(偶数年) 〔祈〕年間週日④

よって承認され、デンマークとスウェーデンのキリスト教化を担当する教皇使節に任命された。福音宣教にあたって多くの困難に遭ったが、強い精神力でそれを克服した。八六五年に死去。

(『毎日の読書』より)

〔朗〕イザヤ52・7—10、マルコ1・14—20

いづくしみ深い父よ、あなたを深く愛する心をお与えください。すべてにおいてあなたを愛し、人の思いをはるかに越えたいしあわせにあずかることができましように。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

第一朗読(サムエル下24・2、9—17)

民を数える罪を犯したのはわたしです。この羊の群れが何をしたらでしょう

サムエル記

〔その日、〕王は直属の軍の司令官ヨアブに命じた。「ダンからベエル・シエバに及ぶイスラエルの全部族の間を巡って民の数を調べよ。民の数を知りたい。」

ヨアブは調べた民の数を王に報告した。剣を取りうる戦士はイスラエルに八十万、ユダに五十万

であつた。

民を数えたことはダビデの心に呵責となつた。

ダビデは主に言つた。「わたしは重い罪を犯しました。主よ、どうか僕の悪をお見逃しください。

大変愚かなことをしました。」ダビデが朝起きると、

神の言葉がダビデの預言者であり先見者であるガドに臨んでいた。「行つてダビデに告げよ。

主はこう言われる。「わたしはあなたに三つの事を示す。その一つを選ぶがよい。わたしはそれを

実行する」と。」

ガドはダビデのもとに来て告げた。「七年間の飢饉があなたの国を襲うことか、あなたが三か月

間敵に追われて逃げることか、三日間あなたの国に疫病が起

こるることか。よく考えて、わたしを遣わされた方にどうお答

えすべきか、決めてください。」ダビデはガドに言つた。「大変な苦し

みだ。主の御手にかかつて倒れよう。主の慈悲は大きい。人間の手にはかかりたくない。」

主は、その朝から定められた日数の間、イスラエルに疫病をもた

らされた。ダンからベエル・シエバまでの民のうち七万人が死んだ。御使いはその手をエルサレムに伸ばして、これを滅ぼそうとしたが、主はこの災いを思い返され、民を滅ぼそうとする御使いに言

われた。「もう十分だ。その手を下ろせ。」主の御使いはエブス人アラウナの麦打ち場の傍らに

いた。ダビデは、御使いが民を打つのを見て、主に言つた。「御覧ください、罪を犯したのはわたしです。わたしが悪かつたので

す。この羊の群れが何をしたのでしようか。どうか御手がわたしとわたしの父の家に下りますように。」

答唱詩編 114 ①② (詩編 32・5、7)

主は豊かなあがないに満ち、いつくしみ深い。

わたしは罪をあなたに表し、

わたしのとがを隠さずに言う。

あなたはわたしの罪をゆるし、

わたしのとがを清めてくださる。

〔答〕

あなたはわたしの隠れ場、

苦しみからわたしを助け出し、

救いの喜びで

おおつてくださる。

〔答〕

アレルヤ唱

〔ア〕 511④ (ヨハネ 10・27)、または 272②

アレルヤ、アレルヤ。羊はわたしの声を聞き分け、
わたしもその羊を知り、羊はわたしに従う。アレ
ルヤ、アレルヤ。

福音朗読 (マルコ 6・1-6)

預言者が敬われないのは、自分の故郷の中だけである

マルコによる福音

〔そのとき、〕イエスは故郷にお帰りになったが、

弟子たちも従った。安息日になったので、イエスは会堂で教え始められた。多くの人々はそれを聞いて、驚いて言った。「この人は、このようなことをどこから得たのだろう。この人が授かった知恵と、その手で行われるこのような奇跡はいったい何か。この人は、大工ではないか。マリヤの息子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟ではないか。姉妹たちは、ここで我々と一緒に住んでいるではないか。」このように、人々はイエスにつまずいた。イエスは、「預言者が敬われないのは、自分の故郷、親戚や家族の間だけである」と言われた。そこでは、ごくわずかの病人に手を置いていやされただけで、そのほかは何も奇跡を行うことがおできにならなかった。そして、人々の不信心に驚かれた。

それから、イエスは付近の村を巡り歩いてお教えになった。

奉納祈願

いつくしみ深い神よ、わたしたちの供えもののみ
心にながうものとして受け入れ、あなたに仕える
者の愛を強めてください。わたしたちの主イエ
ス・キリストによつて。アーメン。

叙唱 年間週日一—六（107—108ページ）

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（詩編33・20、21）

神はわたしの救い。

わたしの心は神のうちに喜び、

とうといその名により頼む。

拝領祈願

万物を治められる父よ、わたしたちの祈りに耳を
傾けてください。キリストのとうといからだを、
まことの糧として受けた人々が、神のいのちにあ
ずかる者となりますように。わたしたちの主イエ

ス・キリストによつて。アーメン。

2月5日 木——祝日・赤

日本二十六聖人殉教者（聖パウロ三木と同志殉教者）

〔朗読〕 日本二十六聖人殉教者（聖パウロ三木と同志殉教者）

日本二十六聖人の一人、パウロ三木は一五六四年から一五六六年の間に生まれた。イエズス会に入会して福音を宣べ伝え、大きな成功を収めた。やがてキリスト者に対する迫害が激しくなると、他の二十五人と共に捕らえられ、残酷に扱われて嘲笑を受けた。そして、ついに長崎に連行され、一五九七年二月五日、はりつけにされて殉教した。二十六名には、二十名の日本人のほか、スペイン、メキシコ、インドの出身者がいた。彼らは一八六二年六月八日、ピオ

九世教皇によって列聖された。なお、この祝日は、ローマ規範版では「聖パウロ三木と同志殉教者」の記念日の名称で、二月六日に祝われている。

〔毎日の読書〕より)

入祭の歌(歌わない場合は次の入祭唱を唱える)

入祭唱

キリストを信じ、キリストの愛のためにいのちをささげた二十六聖人は、キリストとともに終わりになく喜び歌う。

栄光の賛歌(グロリア)

集会祈願

信じる者の力である神よ、あなたは日本二十六聖人を、十字架の死を通して永遠のいのちにお召しになりました。この殉教者の取り次ぎを願うわたしたちが、死に至るまで力強く信仰をあかしすることができまますように。聖霊による一致のうちに、

あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第一朗読(ガラテヤ2・19-20)

生きているのは、もはやわたしではない。キリストがわたしの内に生きておられる。

使徒パウロのガラテヤの教会への手紙

〔皆さん、〕わたしは神に対して生きるために、律法に対しては律法によって死んだのです。わたしは、キリストと共に十字架につけられています。生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。

答唱詩編

〔典〕

107①

③

(詩編126・1+2、6+3)

〔答〕主とともに働くわれらは、

主とともにその実りを味わう。

神が捕らわれびとをシオンに戻されたとき、

わたしたちは夢を見ている思いがした。

わたしたちの顔はほほえみ、

口には喜びの歌が浮かんた。〔答〕

種を手に涙を流して出て行くひとは、

束をかかえ、喜びにあふれて帰って来る。

神はわたしたちに偉大なわざをおこなわれ、

わたしたちは喜びにあふれた。〔答〕

アレルヤ唱 ア 511 ⑨ (マタイ 28・19 a + 20 b)、

または 427 ① (年間アレルヤ唱偶数週の旋律で)

アレルヤ、アレルヤ。全世界に行き、すべての人をわたしの弟子にしなさい。わたしは世の終わりまでいつもあなたがたとともにいる。アレルヤ、

アレルヤ。

福音朗読 (マタイ 28・16-20)

行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい

マタイによる福音

〔そのとき、〕十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示しておかれた山に登った。そして、イエスに会い、ひれ伏した。しかし、疑う者もいた。イエスは、近寄って来て言われた。「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

奉納祈願

全能の神よ、この供えものを祝福し、とうといも

のとしてください。日本の二十六聖人が、あなたの愛に支えられてすべての苦しみに打ち勝つたよ
うに、わたしたちの心にも愛の火を燃え上がらせ
てください。わたしたちの主イエス・キリストに
よって。アーメン。

叙唱 殉教者(110ページ)

拝領の歌(歌わない場合は次の拝領唱を唱える)

拝領唱(二コリント4・11)

わたしたちは、イエスのために死に渡されている。
それは、イエスのいのちが、わたしたちの死すべ
きからだに明らかに示されるためである。

拝領祈願

父である神よ、あなたは、日本二十六聖人のうち
に、十字架の神秘を現してくださいました。主の
過越にあずかったわたしたちがキリストに従い、
すべての人の救いのために尽くすことができます

ように。わたしたちの主イエス・キリストによつ
て。アーメン。

2月6日 金 — 記念日・赤

聖アガタおとめ殉教者

〔年〕 年間第四金曜日(偶数年)

〔節〕 殉教者(おとめ殉教者) (集) 聖アガタおとめ

殉教者

アガタはデキウス帝による迫害(三世紀)のときに、
シチリア島のカタニアで殉教したと思われる。アガ
タに対する崇敬は、すでに古くから全教会で行われ、
その名前はローマ典文(第一奉献文)に加えられた。
「アガタ」とは「よいもの」の意味である。

〔毎日の読書〕より)

〔圖〕 一コリント1・26—31、ルカ9・23—26

入祭の歌 (歌わない場合は次の入祭唱を唱える)

入祭唱

キリストを信じ、キリストの愛のためにいのちを
ささげた殉教者は、キリストとともに終わりなく
喜び歌う。

集会祈願

信じる者の力である神よ、聖アガタはきびしい追
害に耐え、殉教を通して、おとめのいのちをあな
たにささげました。聖女の取り次ぎを求めらわ
したちに、罪のゆるしと、信仰に生きる恵みをお
与えください。聖霊による一致のうちに、あなた
とともに神であり、世々とこしえに生き、治めら
れる御子、わたしたちの主イエス・キリストによ
つて。アーメン。

第一朗読 (シラ47・2-11)

ダビデは心を尽くして賛美の歌をつたい、主を愛した

シラ書

和解の献げ物から脂肪が取り分けられるように、

ダビデもイスラエルの子らから選り分けられた。

彼は子山羊と戯れるように、獅子と戯れ、

小羊と戯れるように、熊と戯れた。

彼は若いとき、巨人を打ち倒して

民の恥を取り除き、

石投げを持った手を上げて、

ゴリアトの高慢を粉砕したのではなかったか。

彼はいと高き主に祈り求めて、

その右手に力を与えられ、

あの方ある戦士を倒し、

自分の民の勢力を高めることができたのだ。

こうして、数万の敵を倒したと言つて

人々は彼を称賛し、

主を賛美しつつ彼をほめたたえ、

栄光の冠を彼に与えた。

彼は取り囲む敵を打ち滅ぼし、

刃向かうペリシテ人を完膚なきまでに倒した。

彼らの勢力は今日まで衰えたままである。

彼はいかなる業をなしたときも、

聖なるいと高き方を榮えある言葉で称賛し、

心を尽くして賛美の歌をうたい、

自分の創造主を愛した。

彼は祭壇の前に歌い手たちを立たせ、

美しい声で歌をうたわせた。

こうして彼らは毎日賛美の歌を

うたうことになった。

彼は祭りを莊嚴なものにし、

祭りの手順を完璧に整え、

人々に主の聖なる御名をたたえさせて、

暁とともに美しい声を聖所に響かせた。

主は彼のもろもろの罪を赦し、

その勢力を永遠に続くものとして高め、

彼に王国の契約と

イスラエルにおける栄光の座を与えられた。

答唱詩編 典 64④⑥ (詩編18・29+31、47+50)

〔答〕 神はわたしを救われる。

そのいつくしみをたたえよう。

神は輝くともしび、

わたしのやみを照らすかた。

神の道は清く、そのことばにはいつわりがない。

〔答〕 神は身を寄せるすべての人のため。

わたしを支える岩、

わたしを救われる神に栄光と賛美。

神よ、諸国の民の中であなたをたたえ、

わたしはあなたの名を喜び歌う。〔答〕

アレルヤ唱 〔ア〕 511⑥ (ルカ8・15参照)、または典 272③〇

アレルヤ、アレルヤ。よい心で神のことばを保ち、

忍耐をもって実を結ぶ人は幸い。アレルヤ、アレ

ルヤ。

福音朗読 (マルコ 6・14-29)

わたしが首をはねたあのヨハネが生き返った

マルコによる福音

「そのとき、」イエスの名が知れ渡ったので、ヘロデ王の耳にも入った。人々は言っていた。「洗礼者ヨハネが死者の中から生き返ったのだ。だから、奇跡を行う力が彼に働いている。」そのほかにも、「彼はエリヤだ」と言う人もいれば、「昔の預言者のような預言者だ」と言う人もいた。ところが、ヘロデはこれを聞いて、「わたしが首をはねたあのヨハネが、生き返ったのだ」と言った。実は、ヘロデは、自分の兄弟フィリポの妻ヘロデシアと結婚しており、そのことで人をやってヨハネを捕らえさせ、牢につないでいた。ヨハネが、「自分の兄弟の妻と結婚することは、律法で許されていない」とヘロデに言ったからである。そこで、ヘロデシアはヨハネを恨み、彼を殺そうと思っていたが、できないでいた。なぜなら、ヘロデ

が、ヨハネは正しい聖なる人であることを知って、彼を恐れ、保護し、また、その教えを聞いて非常に当惑しながらも、なお喜んで耳を傾けていたからである。ところが、良い機会が訪れた。ヘロデが、自分の誕生日の祝いに高官や将校、ガリラヤの有力者などを招いて宴会を催すと、ヘロデシアの娘が入って来て踊りをおどり、ヘロデとその客を喜ばせた。そこで、王は少女に、「欲しいものがあれば何でも言いなさい。お前にやろう」と言い、更に、「お前が願うなら、この国の半分でもやろう」と固く誓ったのである。少女が座を外して、母親に、「何を願いましうか」と言うのと、母親は、「洗礼者ヨハネの首を」と言った。早速、少女は大急ぎで王のところに行き、「今すぐに洗礼者ヨハネの首を盆に載せて、いただきとうござります」と願った。王は非常に心を痛めたが、誓ったことではあるし、また客の手前、少女の願いを退けたくなかつた。そこで、王は衛兵を遣わし、

ヨハネの首くびを持って来るようにと命めいじた。衛兵えいへいは出て行き、牢ろうの中でヨハネの首くびをはね、盆ぼんに載のせて持つて来て少女しょうじょに渡し、少女しょうじょはそれを母親ははおやに渡わたした。ヨハネの弟子でしたちはこのことを聞き、やつて来て、遺体いたいを引き取り、墓はかに納おさめた。

奉納祈願

全能の神よ、聖アガタの殉教を記念して祈ります。迫害の苦しみに打ち勝った聖女の取り次ぎを顧み、この供えものをみ心になうものとしてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

叙唱 殉教者、または聖人(110ページ)

拝領の歌(歌わない場合は次の拝領唱を唱える)

拝領唱(ルカ22・28-30)

あなたがたは、わたしが試練の中にあつたときにもわたしについて来た。あなたがたに父の国を与

えよう。そこでわたしとともに食卓につきなさい。

拝領祈願

信じる者の希望である神よ、あなたは聖アガタに、純潔と殉教の冠をお授けになりました。秘跡の力に支えられて、わたしたちもすべての悪に打ち勝ち、あなたの国に入ることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

年間主日 一

聖なる父、全能永遠の神、いつどこでも主キリストによつて賛美と感謝をささげることがは、まことにとうとい大切な務め（です）。

主キリストは過越の神秘によつて偉大なわざを成し遂げられ、わたしたちを罪と死のくびきから栄光にお召しになりました。わたしたちはいま、選ばれた種族、神に仕える祭司、神聖な民族、あがなわれた国民と呼ばれ、闇から光へ移してください。さつたあなたの力を世界に告げ知らせます。

神の威光をあがめ、権能を敬うすべての天使とともに、わたしたちもあなたの栄光を終わりになくほめ歌います。

年間主日 二

聖なる父、全能永遠の神、いつどこでも主キリストによつて賛美と感謝をささげることがは、まことにとうとい大切な務め（です）。

キリストは人間の過ちをあわれみ、おとめマリヤからお生まれになり、十字架の苦しみを受けて、永遠の死からわたしたちを解き放ち、死者のうちから復活して永遠のいのちをお与えになりました。神の威光をあがめ、権能を敬うすべての天使とともに、わたしたちもあなたの栄光を終わりになくほめ歌います。

年間主日 三

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによつていつもあなたをたたえます。

あなたはすべての人を救うために、御子をこの

世にお遣わしになり、人となられた御子は、その生と死を通してわたしたちにいのちをもたらし、死の淵に沈んでいた人類を解放してくださいました。

み前であなたを礼拝する天使とともに、救いの恵みをたたえ、わたしたちも感謝の賛歌をささげます。

年間主日 四 省略

年間主日 五

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによっていつもあなたをたたえます。

主キリストは新しい人の初穂として人々の中に生まれ、十字架の苦しみによって罪を滅ぼし、死者のうちから復活して永遠のいのちへの道を開き、あなたのもとに昇って天の門を開いてくださいました。

すべての天使と聖人とともに、あなたの栄光をたたえ、わたしたちも終わりなくほめ歌います。

年間主日 六 省略

年間主日 七

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによっていつもあなたをたたえます。

あなたはわたしたちを愛し、ひとり子を救い主として世にお遣わしになりました。御子は罪のほかはすべてにおいてわたしたちと同じものになり、不従順によってわたしたちが失った恵みを、死に至るまでの従順によって新たにしてくださいました。

すべての天使はあなたの栄光をたたえ、わたしたちも声を合わせて感謝の賛歌をささげます。

年間主日 八 省略

年間週日 一

聖なる父、全能永遠の神、いつでもでも主キリストによって賛美と感謝をささげることがは、まこととどうとい大切な務め（です）。

あなたはキリストのうちですべてを一つに集めることをお望みになり、その満ちあふれるのちに、わたしたちをあずからせてくださいました。キリストは神の子でありながら自分をむなくし、十字架の血によってすべてに平和をもたらし、あらゆるものの上にあげられ、従うすべての者に永遠の救いをお与えになります。

神の威光をあがめ、権能を敬うすべての天使とともに、わたしたちもあなたの栄光を終わらなくほめ歌います。

年間週日 二

聖なる父、全能永遠の神、いつでもでも主キリストによって賛美と感謝をささげることがは、ま

とにどうとい大切な務め（です）。

あなたは人を愛によって造り、正義に背いて罰せられた民を、あわれみにより主キリストを通してあがなってくださいました。

神の栄光をたたえ、権能を敬うすべての天使とともに喜び祝い、わたしたちもこれに合わせてつしんでたたえます。

年間週日 三

聖なる父、全能永遠の神、あなたの偉大なわざをたたえ、いつも感謝をささげます。

あなたはみことばである御子によって人を造り、御子の死と復活を通して、新しい人としてくださいました。造られたすべてのものはあなたを賛美し、あがなわれた民は喜びにあふれ、救いのわざをたたえています。

わたしたちもすべての天使、聖人とともに、あなたの栄光を仰ぎ、感謝の賛歌をささげます。

年間週日 四

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによって心からあなたをたたえ、感謝をささげます。

キリストの死を思うとき、愛は深められ、復活の信仰はわたしたちを支え、主の来臨の約束はわたしたちを希望で満たします。

あなたをたたえるすべての天使、聖人とともに、声を合わせて賛美の歌を歌います。

年間週日 五 (第二奉献文の叙唱)

聖なる父よ、最愛の子イエス・キリストを通して、いつでもあなたに感謝をささげることが、まことにとうとい大切な務め(です)。

あなたはみことばによってすべてをお造りになりました。みことばである御子は、救い主、あがない主としてわたしたちに遣わされ、聖霊によって人となり、おとめマリアから生まれ、み旨を果たして、人々をあなたの民とするために、手を広

げて苦難に身をゆだね、死を滅ぼして復活をお知らせになりました。

わたしたちは声を合わせて歌います、天使とすべての聖人とともに、あなたの栄光をたたえて。

年間週日 六 (第四奉献文の叙唱)

聖なる父、全能永遠の神、あなたの偉大なわざをたたえ、いつも感謝をささげます。

あなたは唯一のまことの神、初めもなく終わりもなく、すべてを越えて光り輝くかた。あふれる愛、いのちの泉、万物の造り主。造られたものは祝福され、光を受けて喜びに満たされます。

数知れない天使は昼も夜もあなたに仕え、栄光を仰ぎ見て絶え間なくほめたたえます。わたしたちはこれに声を合わせ、すべての造られたものも、ともにあなたをたたえて歌います。

四句節 一

聖なる父、全能永遠の神、いつでもどこでも主キリストによって賛美と感謝をささげることがは、まことにとうとい大切な務め（です）。

あなたは、信じる人々が復活の神秘を喜びのうちに待ち望み、年ごとに心を清めて迎えるよう導かれます。こうしてわたしたちは祈りと愛のわざに励み、新しいいのちの秘跡にともにあずかり、神の子の豊かな恵みに満たされるよう努めます。ともに、わたしたちもあなたの栄光を終わりになくほめ歌います。

四句節 二

聖なる父よ、御子キリストによってあなたをたえ、感謝の祈りをささげます。

あなたは信じる民の回心を望み、この恵みの時をお定めになり、過ぎ行くこの世にあるわたしたちが心のおごりを捨て、永遠に変わることのない

ものを求めるよう導かれます。

あなたをたたえるすべての天使、聖人とともに、わたしたちも賛美の歌をささげます。

四句節 三

聖なる父、全能永遠の神、いつでもどこでも主キリストによって賛美と感謝をささげることがは、まことにとうとい大切な務め（です）。

四句節にあたり、罪深いわたしたちは節制によつて思い上がりを正し、あなたのいつくしみにこたえて貧しい人を助け、悔い改めのわざを通して感謝をささげるよう招かれています。

天使の群れの賛美の声に合わせ、わたしたちもあなたをたたえて歌います。

四句節 四

聖なる父よ、御子キリストによってあなたをたえ、感謝の祈りをささげます。

あなたは悪い習慣を節制によつて改めさせ、精神を高めて、靈の力とたまものをお与えになります。

神の栄光を仰ぐすべての天使、聖人とともに、わたしたちもつつしんでたたえます。

聖人

聖なる父、全能永遠の神、聖人を通して示されたあなたの栄光をたたえ、感謝の祈りをささげます。

あなたは聖人たちの信仰のあかしによつて、いつも教会に新しい力を注ぎ、限らない愛を示してください。わたしたちもその模範に励まされ、取り次ぎの祈りに支えられ、信仰の歩みを続けま

す。
あなたをたたえるすべての天使、聖人とともに、喜びのうちに賛美の歌を歌います。

殉教者

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによつていつもあなたをたたえ、感謝の祈りをささげます。
聖〇〇〇〇はあなたの恵みに強められ、いのちをささげて御子キリストをあかししました。弱い人間の中にあなたの偉大な力が示され、十字架の道を行く者の中に、人の知恵をはるかに越えるあなたの愛が輝き出ます。

み前で栄光をたたえる天使の声に合わせ、ここに集うわたしたちも感謝の賛歌を歌います。

主の祈り（ベトナム語）

Lạy Cha chúng con ở trên trời,
chúng con nguyện danh Cha cả sáng,
nước Cha trị đến,
ý Cha thể hiện dưới đất cũng như trên trời.
Xin Cha cho chúng con hôm nay lương thực hằng ngày,
và tha nợ chúng con
như chúng con cũng tha kẻ có nợ chúng con.
Xin chớ để chúng con sa chước cám dỗ,
nhưng cứu chúng con cho khỏi mọi sự dữ. Amen.

聖霊の続唱

聖霊来てください。あなたの光の輝きで、
わたしたちを照らしてください。
貧しい人の父、心の光、証の力を注ぐ方。
やさしい心の友、さわやかな憩い、ゆるぐことのないよりどころ。
苦しむ時の励まし、暑さの安らい、憂いの時の慰め。
恵み溢れる光、信じる者の心を満たす光よ。
あなたの助けがなければ、すべてははかなく消えてゆき、
だれも清く生きてはゆけない。
汚れたものを清め、すさみをうるおし、受けた痛手をいやす方。
固い心を和らげ、冷たさを温め、乱れた心を正す方。
あなたのことばを信じてより頼む者に、尊い力を授ける方。
あなたはわたしの支え、恵みの力で、救いの道を歩み続け、
終わりなく喜ぶことができますように。
アーメン。

「聖霊の続唱」(カトリック中央協議会)

15分ごとの祈り

回想のためのみ言葉：

「体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです。主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ、すべてのものの父である神は唯一であって、すべてのものの上であり、すべてのものを通して働き、すべてのものの内におられます。」（エフェソ四章四―六節）

聖アーノルド・ヤンセンの言葉：

「わたしたちは信仰にあふれて生きようとしなければなりません。そのために何よりもまず、三位一体に対する祈りをささげ、また聖なる三位のそれぞれの位格に対する祈りをささげるのです。」

先：永遠の真理である神よ、

答：あなたを信じます。

先：わたしたちの力と救いである神よ、

答：あなたに希望を置きます。

先：限りないいつくしみである神よ。

答：心を尽くしてあなたを愛します。

先：世の救い主としてみ言葉をお遣わしになった神よ、

答：み言葉においてわたしたちを一つにしてください。

先：おん子の霊でわたしたちを満たしてください。

答：あなたのみ名がたたえられますように。アーメン。

保護の聖人への祈り

先：人となられた神のみ言葉、

答：あなたの霊でわたしたちを生かしてください。

先：主の汚れないおん母、

答：すべての人をおん子に導いてください。

先：聖ミカエル、ガブリエル、ラファエル、

答：地上で神の国を守ってください。

先：聖ヨセフ、ヨアキム、アンナ、

答：福音の奉仕者を増やして下さるよう神に祈ってください。

先：聖ペトロ、パウロ、ヨハネ、アンデレ、

答：信仰を宣べ伝える人たちを助けてください。

先：聖グレゴリオ、アウグスチノ、ビンセンチオ、

答：教会のすべての信徒、修道者、教役者のために祈ってください。

先：聖アーノルドとヨセフ、

答：すべての人にわたしたちの心を開かせてください。

先：福者マリア・ヘレナとヨゼファ、神言会の殉教者、

答：宣教的奉仕に努めるわたしたちを助けてください。

先：幼いイエスの聖テレジア、聖フランシスコ・ザビエル、聖なる日本の殉教者、

答：宣教への熱意をわたしたちの心に燃え立たせてください。

先：み言葉の光と聖霊の恵みによって、罪の暗闇と不信仰の夜は消えうせ、

答：イエスのみ心がすべての人の心の内に生きますように。アーメン。

ロザリオの祈り（5つの神秘）

（1）喜びの神秘（受肉の神秘）月曜日・土曜日

1. マリア、神のお告げを受ける
2. マリア、エリザベットを訪問する
3. マリア、イエスを産む
4. マリア、イエスをささげる
5. マリア、イエスを見い出す

（2）苦しみの神秘（受難の神秘）火曜日・金曜日

1. イエス、苦しみもだえる
2. イエス、鞭うたれる
3. イエス、いばらの冠をかぶせられる
4. イエス、十字架を担う
5. イエス、息を引き取る

（3）栄えの神秘（復活の神秘）水曜日・日曜日

1. イエス、復活する
2. イエス、天に上げられる
3. 聖霊、使徒たちにくだる
4. マリア、天の栄光に上げられる
5. マリア、すべての人の母となる

（4）光の神秘（啓示の神秘）木曜日

1. イエス、ヨルダン川で洗礼を受ける
2. イエス、カナの婚宴で最初のしるしを行う
3. イエス、神の国の到来を告げ、人々を回心に導く
4. イエス、タボル山で栄光の姿を現す
5. イエス、最後の晩餐で聖体の秘跡を制定する

『主の祈り』

天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日も お与えください。
わたしたちの罪をおゆるしてください。
わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、
悪からお救いください。
アーメン

『アヴェ・マリアの祈り』

アヴェ、マリア、恵みに満ちた方、
主はあなたとともにおられます。
あなたは女のうちに祝福され、
ご胎内の御子イエスも祝福されています。
神の母聖マリア、
わたしたち罪びとのために、
今も、死を迎える時も、お祈りください。
アーメン。

『栄唱』

栄光は父と子と聖霊に。
初めのように今もいつも世々に。アーメン。

